＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

骨材試験報告書

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

令和　　年　　月　　日

工 事 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

工事場所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

製 品 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

福井市志比口３丁目２番１４号 はさきビル２階
久米田砕石株式会社

070239JP

試験番号：　A-22-5-0119-6
受付日：令和 5 年 2 月 13 日

試験結果報告書

（骨材試験）

〔スクリーニングス（F-2.5）〕

久米田砕石株式会社　殿

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

令和　5　年　4　月　1　日

ＪＮＬＡ認定登録試験事業者
株式会社 Ｍ・Ｔ技研　中央材料研究所
福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL：0778-62-1000　FAX：0778-62-7723
発行責任者　所長　小林 宏成

骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田砕石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
依頼者申請事項	試料採取日	令和5年2月13日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村　嘉孝
試料搬入日		令和5年2月13日
試験日		令和5年2月14日　～　令和5年3月31日

試験体種類		産地
細骨材	スクリーニングス(F-2.5)	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	2.70
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量　%	1.3
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量　kg/l	1.67
		実積率　%	62.8
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	淡い
密度及び吸水率試験	JIS A 1109	表乾密度　g/cm^3	2.70
		絶乾密度　g/cm^3	2.66
		吸水率　%	1.57
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量　%	－
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量　%	2.1
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量　%	0.06
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率　%	0.000
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率　%	－

技術管理者	楳田 直也
試験担当者	楳田 直也

試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（細骨材）

試験担当者：　楳田　直也

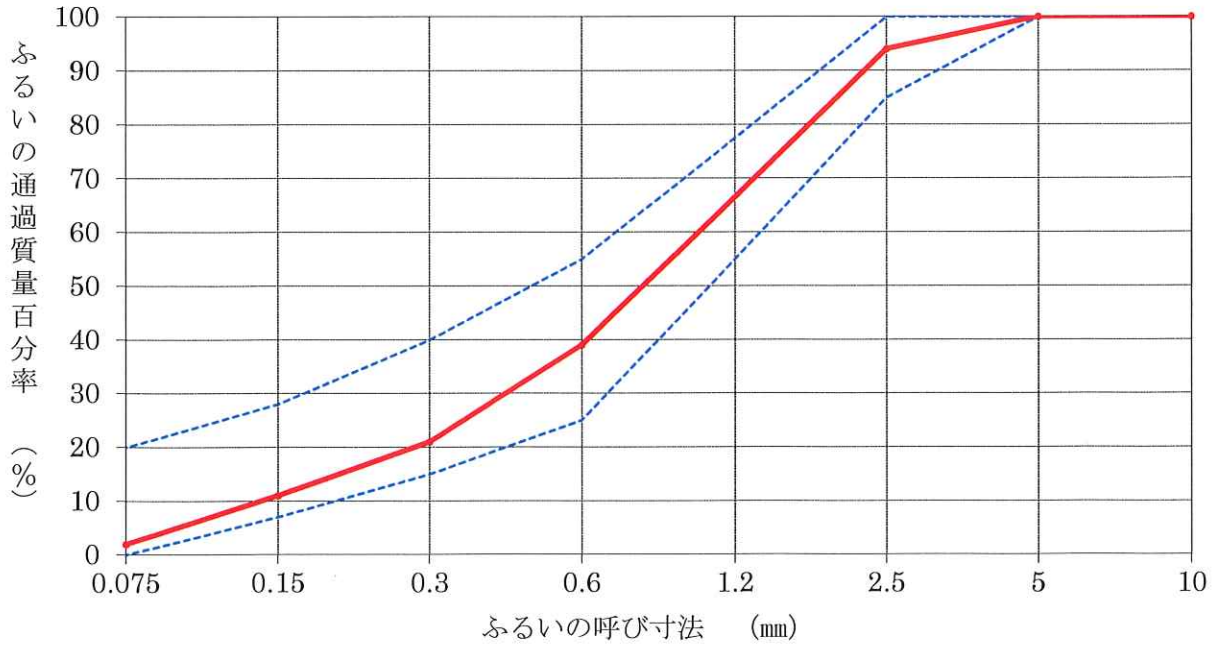
試験日		令和　5　年　2　月　17　日		
試料	種類	スクリーニングス(F-2.5)	最大寸法	2.5 mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和　5　年　2　月　13　日		
	採取場所	骨材堆積場		

ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	557.3

ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
10	0.0	0	0	100
5	0.0	0	0	100
2.5	32.2	6	6	94
1.2	163.4	29	35	65
0.6	143.0	26	61	39
0.3	98.5	18	79	21
0.15	55.9	10	89	11
0.075	50.9	9	98	2
受け皿	13.2	2	100	0
合計	557.1	100	—	—

試験前後の質量差 (%)	0.04	粗粒率	2.70
隣接するふるいにとどまる量の質量分率の差の最大値 (%)			29

粒度曲線図



試験規格 | JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（細骨材）

試験担当者 ： 楳田　直也

細　骨　材				
試　験　日			令和　5　年　2　月　17　日	
試　料	種　類		スクリーニングス（F-2.5）	
	産　地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採取日		令和　5　年　2　月　13　日	
	採取場所		骨材堆積場	
試験回数			1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)		m_1	591.2	564.9
洗った後の試料の乾燥質量 (g)		m_2	583.8	557.3
骨材の微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)		A	1.3	1.3
2回の試験の平均値 (%)		$\overline{A}$	1.3	
平均値からの差 (規格値:0.3%以下)			0.0	

試験規格 | JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者 ： 楳田　直也

試験日			令和 5 年 3 月 31 日	
試料	種類		スクリーニングス（F-2.5）	
	産地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採取日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採取場所		骨材堆積場	
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	0.908	0.908
	容器の容積 (l)	V	2.001	2.001
	(容器＋試料)の質量 (kg)	(2)	4.251	4.259
	試料の質量 ＝ (2)－(1) (kg)	m_1	3.343	3.351
	単位容積質量 ＝ $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.67	1.67
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\overline{T}$	1.67	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm^3)	d_D	2.66	
	実積率 ＝ $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	62.8	

試験規格 | JIS A 1109

細骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者 ： 楳田　直也

試験日			令和 5 年 3 月 3 日	
試料	種類		スクリーニングス（F-2.5）	
	産地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採取日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採取場所		骨材堆積場	
試験回数			1	2
表乾密度	水を満たしたピクノメータの全質量 (g)	m_1	1153.3	1166.0
	表乾密度試験用試料の質量 (g)	m_2	556.1	526.5
	試料と水で満たしたピクノメータの質量 (g)	m_3	1503.7	1498.1
	試験温度における水の密度 (g/cm³)	ρ_w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 $= \dfrac{m_2 \times \rho w}{m_1 + m_2 - m_3}$ (g/cm³)	d_s	2.70	2.70
	2回の試験の平均値 (g/cm³)	$\bar{d}_s$	2.70	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm³以下)		0.00	
絶乾密度	表乾状態の吸水率試験用試料の質量 (g)	m_4	529.9	584.1
	乾燥後の吸水率試験用試料の質量 (g)	m_5	521.7	575.1
	絶乾密度 $= d_s \times \dfrac{m_5}{m_4}$ (g/cm³)	d_d	2.66	2.66
	2回の試験の平均値 (g/cm³)	$\bar{d}_d$	2.66	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm³以下)		0.00	
吸水率	吸水率 $= \dfrac{m_4 - m_5}{m_5} \times 100$ (%)	Q	1.57	1.56
	2回の試験の平均値 (%)	$\bar{Q}$	1.57	
	平均値からの差 (規格値:0.05%以下)		0.01	

水の温度と密度

温度 (℃)	密度 (g/cm³)	温度 (℃)	密度 (g/cm³)	温度 (℃)	密度 (g/cm³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格　JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（細骨材）

試験担当者：　楳田　直也

細　骨　材		
試　験　日		令和　5　年　3　月　16　日
試　料	種　類	スクリーニングス（F-2.5）
	産　地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採取日	令和　5　年　2　月　13　日
	採取場所	骨材堆積場

ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の各群の質量	試験後の各群の質量	各群の損失質量分率 $(1-\frac{m_2}{m_1})\times100$	骨材の損失質量分率 $\frac{①\times P_1}{100}$
通るふるい	とどまるふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	
(mm)	(mm)	(g)	(%)	m_1	m_2	P_1	(%)
0.15	—	64.1	12	—	—	—	—
0.3	0.15	55.9	10	—	—	—	—
0.6	0.3	98.5	18	100.0	96.9	3.1	0.6
1.2	0.6	143.0	26	100.0	97.5	2.5	0.7
2.5	1.2	163.4	28	100.0	98.0	2.0	0.6
5	2.5	32.2	6	100.0	97.0	3.0	0.2
10	5	0.0	0	—	—	—	—
合　計		557.1	100	—	—	—	2.1

注）①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者 ： 楳田　直也

細　骨　材			
試　験　日			令和　5　年　2　月　21　日
試　料	種　類		スクリーニングス（F-2.5）
	産　地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採取日		令和　5　年　2　月　13　日
	採取場所		骨材堆積場
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	177.8
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	177.7
粘土塊量＝ $\frac{m_{D1}-m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.06

注1）試験回数は、附属書Bによる。

試験規格 | JIS A 1144 4.b

細骨材の塩化物量試験

試験担当者：　楳田　直也

試験日			令和　5 年　3 月　3 日	
試料	種類		スクリーニングス（F-2.5）	
	産地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採取日		令和　5 年　2 月　13 日	
	採取場所		骨材堆積場	
細骨材の試料※	(g)	—	1000.9	
試料のろ液	(ml)	V	50	50
28.2mol/L硝酸銀溶液消費量(ml)	始点 (ml)	a1	0.00	0.00
	終点 (ml)	a2	0.20	0.20
	a = a2−a1	a	0.20	0.20
塩化物イオン量 ($mgCl^-/L$)		C	4	4
塩化物の含有率（NaClとして）		(%)	0.000	0.000
2回の試験の平均値		(%)	0.000	

［計 算］

$$C = \frac{a \times f \times 1000}{V} \times 1$$

※骨材の塩化物量試験に用いる試料溶液の調製は、JIS A 5002の5.5（塩化物）による。

本書の取扱いについて

- 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- 本試験結果の一部分を、当試験所の名称を付してカタログに記載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

本書についての問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社 M・T技研　中央材料研究所
〒 916-0068　福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL ： 0778-62-1000　FAX ： 0778-62-7723